

原三信病院におけるハイパーサーミアの現状

原三信病院、放射線治療・ハイパーサーミアセンター

寺嶋 廣美, 古藤 和浩, 元村 哲也, 真鍋 麻美, 嶽本 洋, 井上 文江

2012/ 6~2018/ 7 に 400 名の悪性腫瘍患者がハイパーサーミア目的に受診し、387 名が治療された。男性 206 名、女性 181 名、平均年齢は 62.4 歳であった。疾患別では膵臓癌 17%、大腸癌 15%、肺癌 13%、膀胱癌 11%、乳癌 8%、胃癌 7%、その他は婦人科癌、頭頸部癌などであった。近年の傾向は膵臓癌、肝臓癌の症例が増加傾向であった。殆どの症例は進行癌、再発・転移癌で化学療法とハイパーサーミアの併用が多く、2015 年以後は当院にての放射線治療を開始し、放射線治療併用例も増加している。1 クールを 8 回とし可能な限り継続し、最長は 6 年間加温中である。2 年生存例は 28 例、5 年生存例は 7 例であった。進行癌、再発癌にて根治困難で緩和医療を勧められた症例も多く、ハイパーサーミアは有用な救いとなる治療法の一つである。